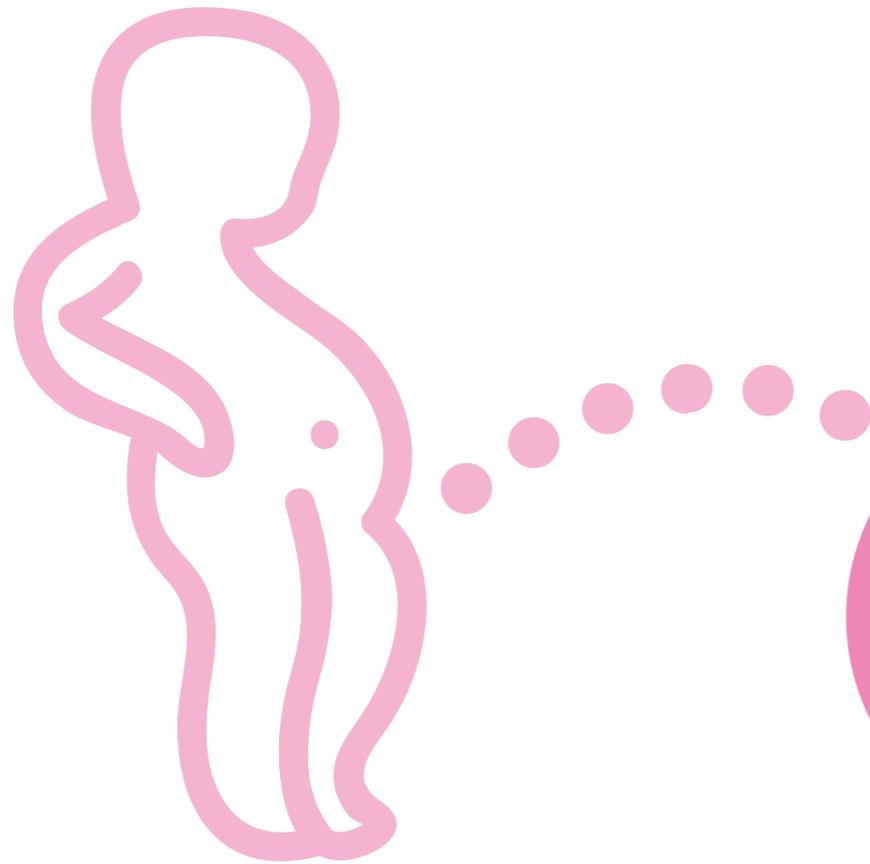


ネオニコチノイド系農薬

+ネオニコチノイド系類似農薬

14成分検査



尿

女性農業従事者の  
中の**農薬調査**

2022年度 アクト・ビヨンド・トラスト研究助成

一般社団法人 農民連食品分析センター 八田純人

# 消費者中心に行った 202検体の調査では…

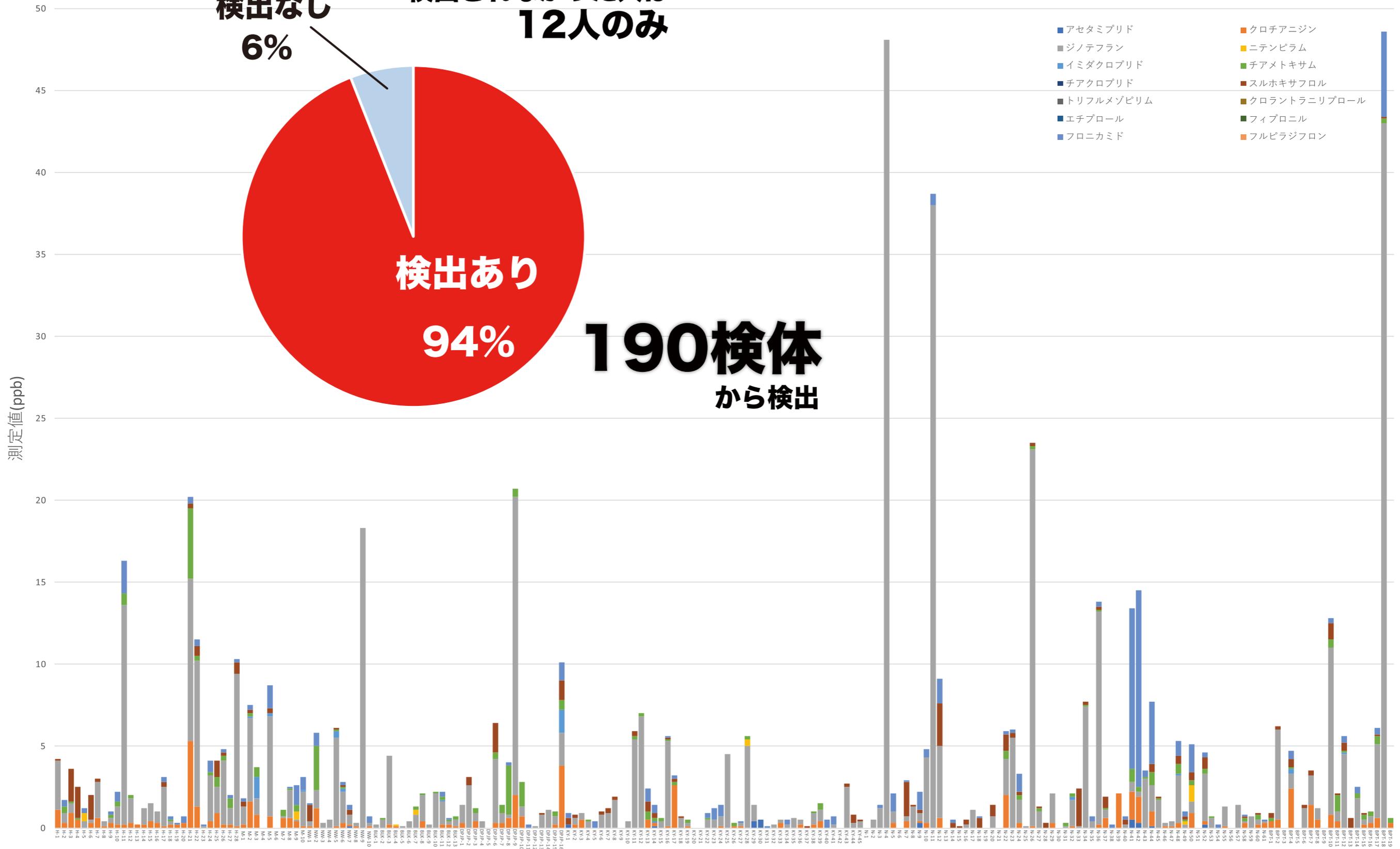
検査対象の農薬が  
検出されなかった人は  
**12人のみ**

検出なし  
**6%**

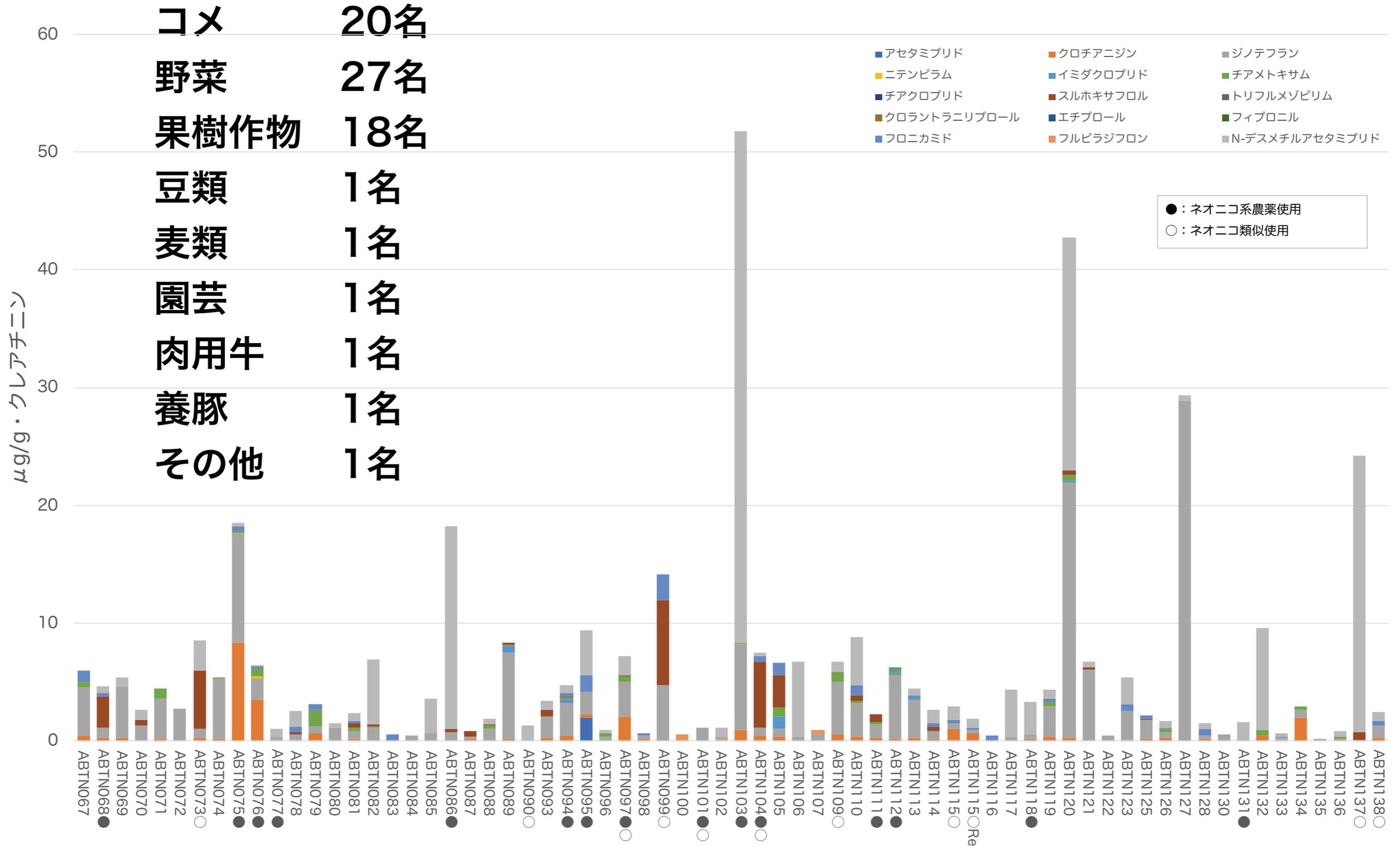
検出あり  
**94%**

**190検体**  
から検出

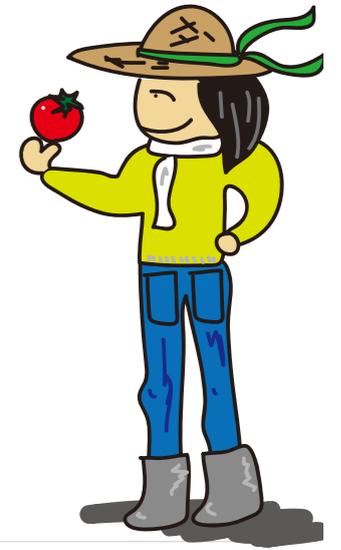
- アセタミプリド
- ジノテフラン
- イミダクロプリド
- チアクロプリド
- トリフルメゾピリム
- エチプロール
- フロニカミド
- クロチアニジン
- ニテンピラム
- チアメトキサム
- スルホキサフロル
- クロラントラニリプロール
- フィプロニル
- フルピラジフロン



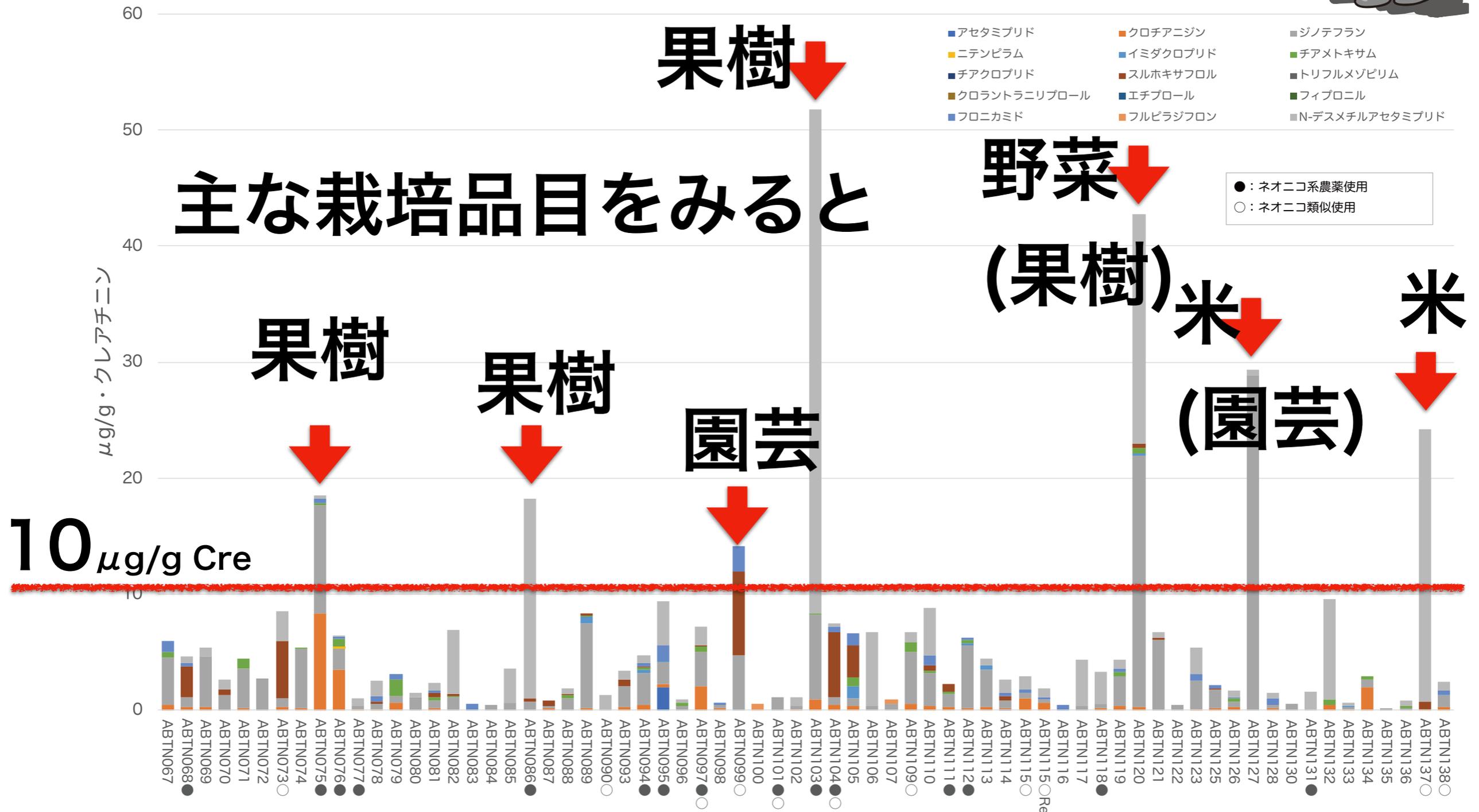
# 検出されなかった人は **0** ゼロ

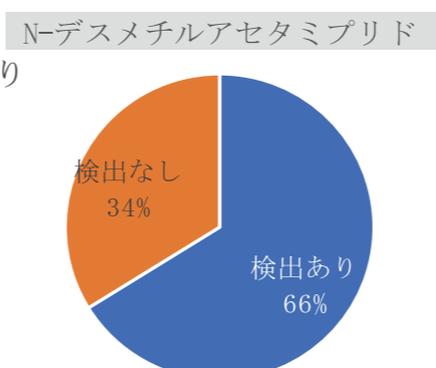
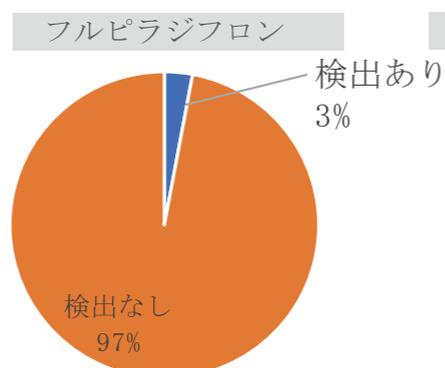
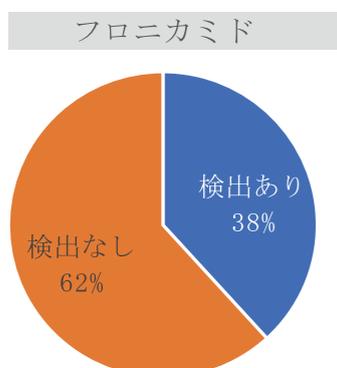
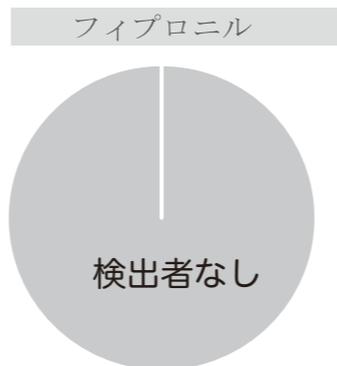
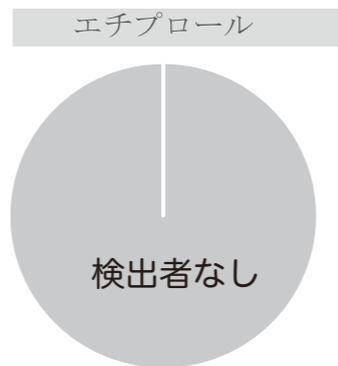
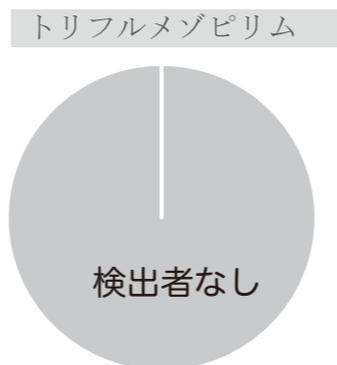
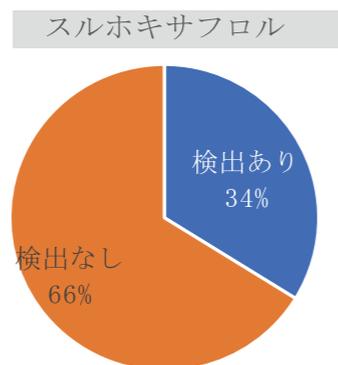
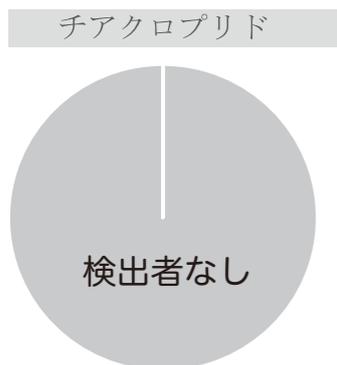
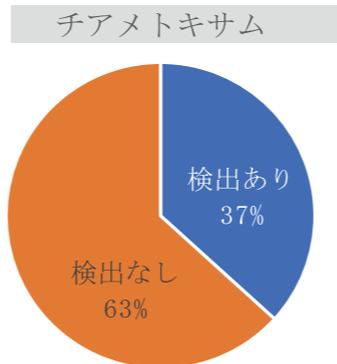
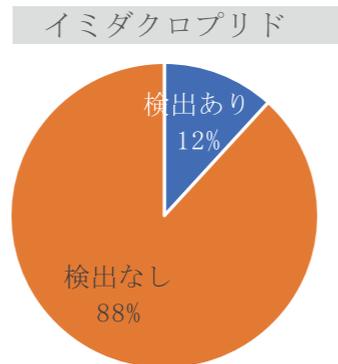
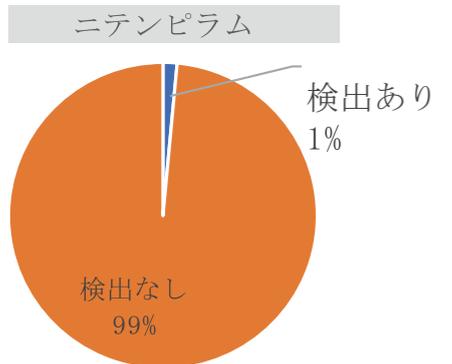
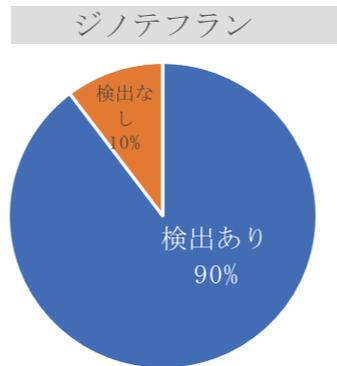
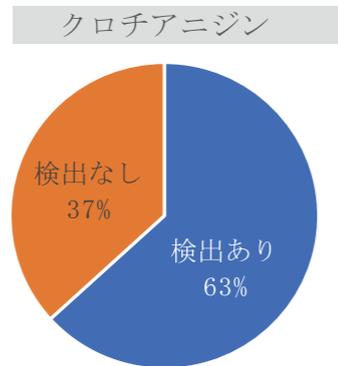
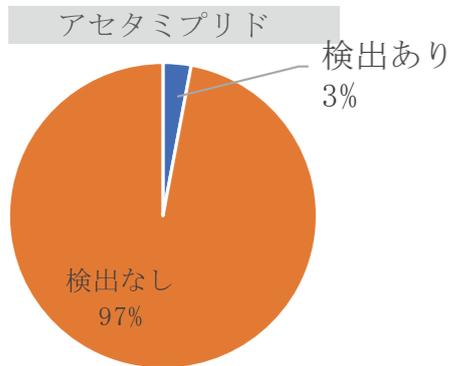


# やっぱり農業従事者の方が、 農薬がたくさん検出されるの



グラフ1 農民連女性部の尿中ネオニコチノイド系農薬分析結果-クレアチニン補正值/散布有無マーク-





- ▶ ジノテフランの検出が顕著（9割から）
- ▶ クロチアニジンの検出も顕著（6割から）
- ▶ ネオニコ代替のスルホキサフロルの検出
- ▶ 浸透性農薬フロニカミドの検出多い
- ▶ アセタミプリド代謝物の検出（6割から）

- ▶ **ネオニコの検出水準は消費者と同等**
- ▶ 食材入手は消費者と変わらない時代？
- ▶ 全員が散布時に防護を実践・その効果？
- ▶ ネオニコを栽培時使用する人少なかった

➡農家が作業や環境での暴露機会が多いのは確か。ヒントをつかんだ？

➡より条件を絞った調査計画が必要

➡伴侶に検査結果を伝えられなかったという話を聞いた。この調査の根っこにある意義を考える機会に。

➡検査をもっとやろうという声も